

# 春惜む海景に馬佇たしめて

藤田湘子

馬の種類は多いが、日本在来種で残っているのは八種類。その中でも、ほとんど人手をかけず、自然環境の中で周年放牧を行って居るのは、宮崎県都井岬に生息する天然記念物の御崎馬（みさきうま）である。

現在、御崎馬は約100頭くらいいるが、触れたり乗馬には使われず、見学のみ許されている。

太平洋、日向灘を眼下に、サラブレッドより小型ではあるが、春風に吹かれる放牧馬を見ることができれば、どんなに素晴らしいだろう。

句集『去来の花』を読み返しても、昭和五十九年には大分の臼杵や国東半島を回った俳句はあるが、都井岬や御崎馬の名前は無かった。どこの海景だったのだろう。

1984年（s59.04作）第六句集『去来の花』 鑑賞・轍郁摩